

## 【注意事項】

R20TS0197JJ0100

Rev.1.00

2017.09.01 号

---

**CS+用 RX コード生成,  
e<sup>2</sup> studio Code Generator プラグイン,  
RX コード生成支援ツール AP4**

---

**概要**

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. I<sup>2</sup>C バスインタフェースをスレーブモードで使用する場合の注意事項

**1. I<sup>2</sup>C バスインタフェースをスレーブモードで使用する場合の注意事項****1.1 該当製品**

- ▶ CS+用 RX コード生成 V1.03.00 以降
- ▶ e<sup>2</sup> studio V3.1.0.024 (Code Generator プラグイン V1.1.2) 以降
- ▶ RX コード生成支援ツール AP4 V1.03.00 以降

**1.2 該当 MCU**

- ▶ RX ファミリ : RX110、RX111、RX113、RX130 グループ  
RX230、RX231、RX23T、RX24T、RX24U グループ  
RX64M、RX651、RX65N、RX71M グループ

**1.3 内容**

I<sup>2</sup>C バスインタフェースをスレーブモードで使用する場合、該当製品の生成するコードで I<sup>2</sup>C バスファンクション許可レジスタ (ICFER) の SCL 同期回路有効ビット (SCLE) を “0” に設定しているため、正しく通信できない場合があります。

**1.4 回避策**

以下の関数の I<sup>2</sup>C バスファンクション許可レジスタ (ICFER) の SCL 同期回路有効ビット (SCLE) を “1” にしてください。

- ・ソースファイル “r\_cg\_riic.c” の関数 : “void R\_RIICn\_Create (void)” (注1)

なお、コード生成後は常に修正が必要です。ただし、“ユーザコード保護機能”を使用し、以下の関数に修正内容を追記することで、再コード生成実行後も有効にしておくことが可能です。詳細は以下の FAQ をご参照ください。(注2)

- ・ソースファイル “r\_cg\_riic\_user.c” の関数 : “void R\_RIICn\_Create\_UserInit (void)” (注1)

注1 : n は、チャンネル番号です。

注2 : FAQ 1011900

<https://support.renesas.com/hc/ja/articles/223180467-FAQ-1011900>

以下に RX230 での修正例を記します。赤文字の部分が修正内容です。

修正前 :

```

/*****
* Function Name: R_RIIC0_Create
* Description  : This function initializes the RIIC0 Bus Interface.
* Arguments    : None
* Return Value : None
*****/
void R_RIIC0_Create(void)
{
    省略
    /* Set ICFER */
    RIIC0.ICFER.BYTE = _00_IIC_TIMEOUT_FUNCTION_DISABLE |
                      _00_IIC_MASTER_ARBITRATION_DISABLE |
                      _00_IIC_NACK_ARBITRATION_DISABLE |
                      _00_IIC_SLAVE_ARBITRATION_DISABLE |
                      _10_IIC_NACK_SUSPENSION_ENABLE |
                      _20_IIC_NOISE_FILTER_USED;

    省略
}

```

修正後 :

```

/*****
* Function Name: R_RIIC0_Create
* Description  : This function initializes the RIIC0 Bus Interface.
* Arguments    : None
* Return Value : None
*****/
void R_RIIC0_Create(void)
{
    省略
    /* Set ICFER */
    RIIC0.ICFER.BYTE = _00_IIC_TIMEOUT_FUNCTION_DISABLE |
                      _00_IIC_MASTER_ARBITRATION_DISABLE |
                      _00_IIC_NACK_ARBITRATION_DISABLE |
                      _00_IIC_SLAVE_ARBITRATION_DISABLE |
                      _10_IIC_NACK_SUSPENSION_ENABLE |
                      _20_IIC_NOISE_FILTER_USED;

    RIIC0.ICFER.BIT.SCLE = 1U;
    省略
}

```

### 1.5 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。(2018年1月予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.09.01	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先

<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。